



公益社団法人 国土緑化推進機構

National Land Afforestation Promotion Organization

公益社団法人 国土緑化推進機構

活動報告レポート

寄付金額 130,490円

1. KURADASHI.jp 会員様へ

昭和 25 年（1950 年）から国民運動として始まった国土緑化運動ですが、運動開始から 67 年が経過し、これまでに植栽した苗木は既に利用できる木へと成長しました。しかし、森林・林業を取り巻く環境は厳しく、木材価格が低迷する中で、木材を伐採・搬出するコストが大きく、伐採しても利益が見込めず、伐採後にまた植林をしようという森林所有者の意欲に結びつかない状況となっています。

このため、利用できる木になっているにもかかわらず、手がつけられずに放置される森林が増加しています。手入れがなされない森林は、下草が十分に生えず、径の細い木々の林となり、自然災害に弱い不健全な森林となってしまいます。この結果、森林の有する様々な機能が十分に発揮されなくなってしまうのです。

このような事態を打開するためには、私たちが我が国の木材を使うことにより、木材需要を伸ばし、「木を伐る」→「木を使う」→「木を植える」→「木を育てる」という森林の循環サイクルを推進することが重要です。国土緑化推進機構では「植える」緑化から「使う」緑化へというスローガンを掲げ、現在、緑化の推進に取り組んでいます。

会員の皆様におかれましても、国産材を利用することが、山の若返りへとつながり、健全な森林を維持する上で必要なことであることをご理解いただき、木材利用の推進にも目を向けていただければ幸いです。

2. 緑の募金による東日本大震災復興事業

東日本大震災から 6 年が経過しました。「緑の募金」では、震災直後から「緑の募金東日本大震災復興事業」を通して被災地支援を続けてきました。



3. 11 復活の森林づくり（千葉

県山武市）平成 29 年 3 月

これまでに、居住地周辺の緑化や海岸防災林再生の事業を支援してきました。一方、海岸林は厳しい条件下での森林造成であり、森林の再生には 50 年～100 年という長い期間が必要です。「緑の募金」では今後も被災地の復興を支援するため、東日本大震災復興事業用途限定募金を活用することとしています。会員の皆様からの寄付金もこの事業に役立てられていることをご報告し、引き続きのご支援・ご協力をお願いいたします。